

🏠 市場価格

ドル建て ドル/toz

| Platinum | Price | Date |
|----------|---------|------------|
| Open | 1121.00 | 2023/04/24 |
| High | 1122.00 | 2023/04/24 |
| Low | 1066.55 | 2023/04/28 |
| Close | 1078.00 | 2023/04/28 |

円建て 円/グラム

| Platinum | Price | Date |
|----------|---------|------------|
| Open | 4830.00 | 2023/04/24 |
| High | 4830.00 | 2023/04/24 |
| Low | 4606.00 | 2023/04/25 |
| Close | 4723.00 | 2023/04/28 |

ドル建て ドル/toz

| Palladium | Price | Date |
|-----------|---------|------------|
| Open | 1601.00 | 2023/04/24 |
| High | 1601.00 | 2023/04/24 |
| Low | 1465.00 | 2023/04/27 |
| Close | 1501.00 | 2023/04/28 |

円建て 円/グラム

| Palladium | Price | Date |
|-----------|---------|------------|
| Open | 6893.00 | 2023/04/24 |
| High | 6893.00 | 2023/04/24 |
| Low | 6319.00 | 2023/04/27 |
| Close | 6577.00 | 2023/04/28 |

📄 ニュースエクスプレス

南アフリカの電力問題悪化でプラチナ供給に危機感、投資家はプラチナETFをパニック買い

南アフリカで悪化している計画停電でプラチナの世界的な生産が危機に陥っており、今年の供給に対する懸念の高まりとともに、大量の投資マネーがプラチナ上場投資信託（ETF）に投入されている。

南アフリカはアフリカ大陸で最も経済が発展している国だが、昨年実施された計画停電はプラチナの生産に影響し、今年に入っても停電の深刻度は増している。インバラ・プラチナムによると今年のプラチナ生産は減産となる予測だ。プラチナは自動車軸磁、電気接点材料、宝飾品、ペースメーカー、製薬、磁石など多くの用途がある。

ブルームバーグのデータによると、現物が原資のプラチナETFの保有高は先週だけで、3.6トンを増え、一週間で増えた量としては2019年3月以来最大となった。

ETFへの資金流入は、2月末に913ドル/オンスに下落したプラチナスポット価格が23.5%上昇したのと重なった。

ブルームバーグによると、ETF買いの大半は南アフリカの投信、Invest Platinum ETFで、関係筋によると南アフリカのファンドマネジャーらはプラチナに対し非常に強気である。南アフリカの国営電力会社エスコムは電力不足を理由に鉱山会社に対して、鉱山生産を制限する必要があるかもしれないと警告を出したばかりだ。

インバラ・プラチナムの担当者、Johan Theron は今年初めにブルームバーグに対し「電力供給が改善しなければ、今年は去年よりもさらに悪い状況に陥るだろう。電力供給が悪化すれば、地下の鉱鉱に鉱員を送り込むことができない日があるだろう。」としている。

<https://www.zerohedge.com/commodities/investors-panic-platinum-etfs-south-african-power-crisis-threatens-global-supply>

ファンダメンタルズの改善でプラチナ価格、1100ドル突破、ゴールドとシルバーのパフォーマンスを上回る

プラチナ価格は勢いに乗って年初来の高値になり、投資家がプラチナの価値を改めて見直す状況になっている。

プラチナ価格は4月26日の終値が1100ドル/オンス、4%以上の上昇に見込みみで、1000ドルのサポートを試していた4月終わりからは10%以上の値上がりとなる。

WPICは、価値のある貴金属への投資を求めている投資家にとってプラチナは魅力的な資産であるとしており、WPICのCEOトレバー・レイモンドは「プラチナ投資はゴールド、そして1対1で代替可能なパラジウムに比べてもまだ知られていなく、かつ過小評価されている。」と語る。

現在プラチナ価格を押し上げている背景にはテクニカルな要因があるが、プラチナのファンダメンタルズは非常に良好で、アナリストの中には、今後も価格上昇が続く可能性があり、予想以上に回復を遂げている中国経済がプラチナ宝飾品需要を支えるだろうとしている。同時に南アフリカで電力供給の状況が悪化している現状が供給に影響している。

「プラチナ生産高が短期的には影響を受けなくても（生産会社は今のところは電力削減に対応できている）、現状は強気相場を支える電供給状況になりつつあり、今後電力供給が生産に打撃を与えるレベルにまで悪化すれば、問題はさらに大きい。」と語るのはMKS PAMPでmetals strategyを率いるNicky Shields。

アナリストらは昨今のプラチナ価格の高値はプラチナの短めた可能性の証拠だとしている。Saxo Bankのcommodity strategyを率いるOle Hansenは、「プラチナは、供給が限られていること、グリーン経済への貢献度から、貴金属市場の“隠れる美女”だ。」と語る。

近年のプラチナは、自動車セクターが低迷している影響で、持続的な投資を呼び込むことが容易ではなかった。というのもプラチナは、ガソリン車・ディーゼル車が排出する有害な排気ガスを軽減する触媒の需要が大きいからだ。

しかし、プラチナは世界がグリーン経済へ転換する中で、独自の存在意義を証明しつつある。という新たなエネルギー源として注目されている水素において、水を電解して生産するにはプラチナが触媒として使われるからだ。

Blue Line Futuresのchief market strategistであるPhillip Streibleは、プラチナがいかに有意義なメタルであるかを鑑みると、1月についた最高値を超えるのは時間の問題であるとしている。

<https://www.kitco.com/news/2023-04-19/Platinum-price-hits-1100-as-it-outperforms-gold-and-silver-driven-by-improving-fundamentals.html>

Translated by Kazuo OSAWA

📣 WPIC直近の活動

- 2023年第1四半期の中国経済はコロナ対策の緩和を経て GDPは予想された4.0%を上回る 4.5%となるなど順調な回復を見せている。また、中国のプラチナ需要は変化しており、宝飾品需要の低迷を補って、最近は自動車と工業需要が伸びている。中国経済の回復がこのまま予想を上回る水準で続き、プラチナ需要が2021年の水準にまで戻れば、2023年はプラチナ需要全体が約9.3トン増え、供給不足は17.3トンよりも増えるだろうと予測される。詳しくは**プラチナ展望（2023年4月号）**をご覧ください。https://platinuminvestment.com/files/932345/WPIC_Platinum_Perspectives_April_2023.pdf



免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、wpicの投資勧誘を意図するものではありません。また、そのように解釈されるべきではありません。